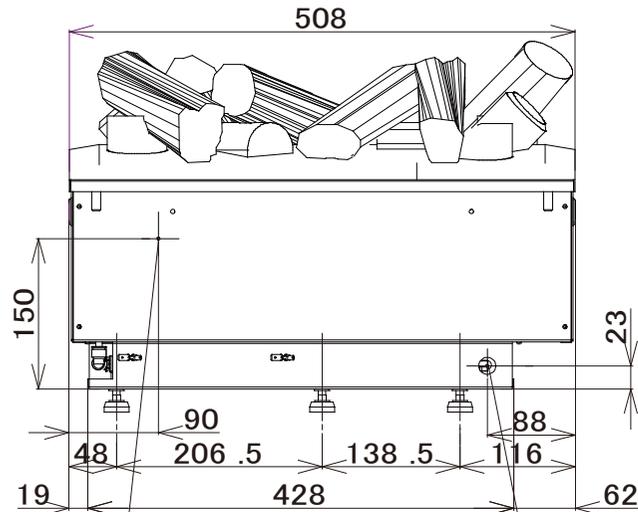


【上面】

## 【CAS500J】

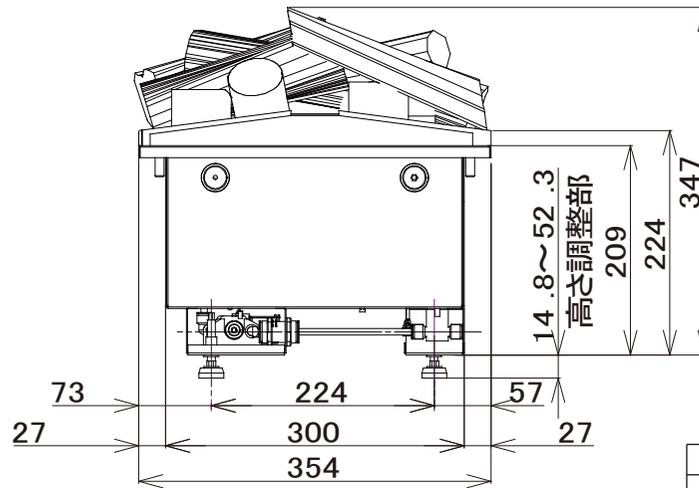
<仕様>

型番	CAS500J
名称	電気暖炉カセット500J
定格電源	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	210W
本体質量(含薪セット)	18kg
電源コード長さ	1.8m
付属予備部品	予備蒸気発生器(1個)
製造国	アイルランド



電源コード(背面側)

PVCチューブ接続口(背面側)



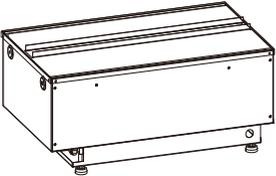
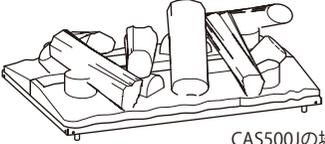
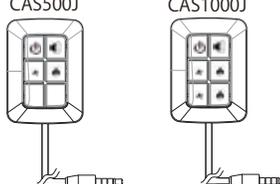
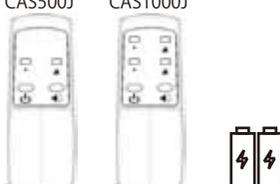
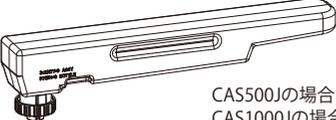
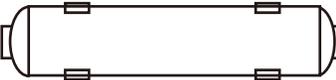
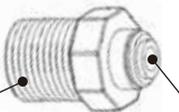
改訂	年月日	内容
C	2020-06-03	社名変更ほか (担 中野 確 阿南 承 阿南)
B	2019-04-30	施工上の注意点追記 (担 中野 確 阿南 承 阿南)
A	2017-03-22	CAS1000J図面追加 (担 八木 確 阿南 承 新野)
初版	2016-06-01	新規作成 (担 八木 確 阿南 承 新野)

図番	電気暖炉カセット CAS1000J	尺度	Free
名称	電気暖炉カセット CAS500J	No.	1/6

輸入元：株式会社 バークマン



【同梱部材】

CAS500J/CAS1000J本体	薪セット※別梱包
	 <p>CAS500Jの場合：1台 CAS1000Jの場合：2台</p>
レシーバー	リモコン
<p>CAS500J CAS1000J</p> 	<p>CAS500J CAS1000J</p> 
蒸気発生器	蒸気ノズル先端
 <p>CAS500Jの場合：2個（内、1個は予備） CAS1000Jの場合：4個（内、2個は予備）</p>	 <p>CAS500Jの場合：2本 CAS1000Jの場合：4本</p>
水タンク(1.2L) ※自動給水時は使用せず	浄水フィルター ※水タンクの場合は使用せず
 <p>CAS500Jの場合：1個 CAS1000Jの場合：2個</p>	
1/4"PVCチューブ1m ※水タンクの場合は使用せず	アダプター ※水タンクの場合は使用せず
 <p>外径1/4インチ=6.35mm</p>	 <p>R1/2 1/4"PVCチューブ接続</p>

単体で梱包されている薪は、CAS1000Jで使用時、あるいはCAS500Jを複数台並べて使用する際に、2つの薪セットの間のすき間に置くための化粧用です。CAS500Jを1台のみでご使用になる場合は、不要です。



【施工上の注意点】



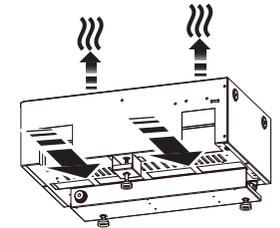
ご注意：

空気の「対流」が十分に得られるよう、以下の指示に従って必ず通気口を設けてください。

1. 通気口について：

造作物やケースなどに電気暖炉を収納する場合は、空気の対流がスムーズに行われるよう、下側に空気を流入させる通気口を設けてください（設置・取扱説明書を参照）。

電気暖炉は、疑似炎をリアルに演出する上昇気流を作り出すために、ヒーターを内蔵しています。通気口が確保されていない場合、空気対流が適切に行われず、機器内部の熱ごもりによる故障の原因となります。必ず規定サイズ以上の通気口を確保するよう、お願いいたします。

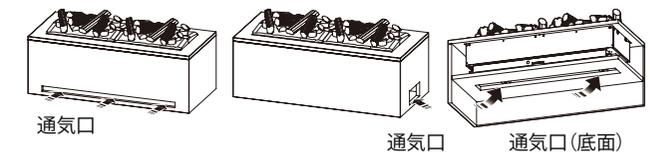


通気口の面積は、CAS500Jの場合は1台につき210平方センチメートル以上、またCAS1000Jの場合は1台につき420平方センチメートル以上にします。通気口は電気暖炉本体の下側に配置し、下側より吸引される空気がミストと共に上部へ放出されるようにしてください。

・CAS500Jの例（開口部面積：210[cm<sup>2</sup>]以上）

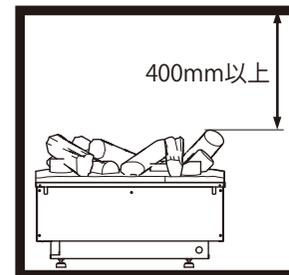


・CAS1000Jの例（開口部面積：420[cm<sup>2</sup>]以上）



2. 離隔距離について：

本体の上面より400[mm]以上、スペースを開けてください。



図番名称	電気暖炉 カセット CAS1000J	尺度	Free
	電気暖炉 カセット CAS500J		
	ZG160005C	No.	3 / 6

輸入元：株式会社 バーグマン

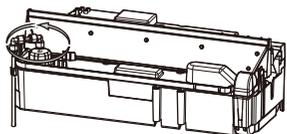
【給水接続：自動給水の場合】

自動給水の場合

※①、②、③についてCAS1000Jの場合左右2台分の作業を行なってください。

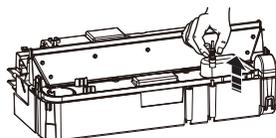
- ⚠ 電源コードをコンセントから抜いた状態で作業してください。
- ⚠ 蛇口等の止水用具に付属のアダプターを取り付けて接続してください。
- ⚠ 不純物などが含まれていない水道水をご使用ください。
- ⚠ 0.5Bar～8.0Barの水圧でご使用ください。
- ⚠ 水を補充する場合は、本体内部に水をこぼさないようにご注意ください。

1 反時計回りに給水用キャップを回し、キャップを外してください。

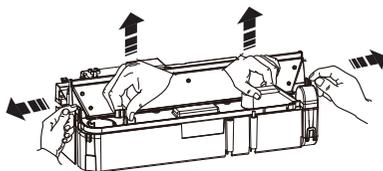


2 蒸気発生器の配線を外し、蒸気ノズルを取り外してください。

蒸気発生器の配線を外す。

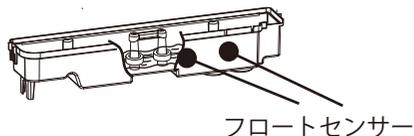


クランプ部を外に広げながら、蒸気ノズルを持ち上げる。

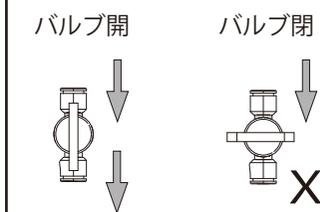


⚠ 1回以上ご使用の場合、蒸気ノズルを持ち上げる際に、水滴が落ちることがあります。水平に持ち上げてください。

3 蒸気発生器の表面が覆われる程度に水を入れ(約0.75L)、蒸気トレイ内のフロートセンサーに引っ掻きがなく、浮いた状態であることを確認してください。



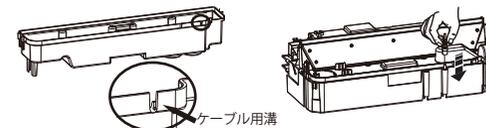
4 本体後方下側のバルブを開いてください。



自動給水の場合 続き

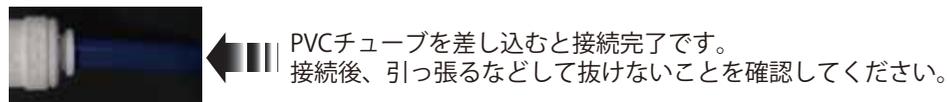
5 ①～③の逆の順序で、給水キャップを取り付けてください。

- ⚠ 蒸気発生器の配線は蒸気トレイのケーブル用溝を通してください。
- ⚠ 蒸気用配線を接続してください。



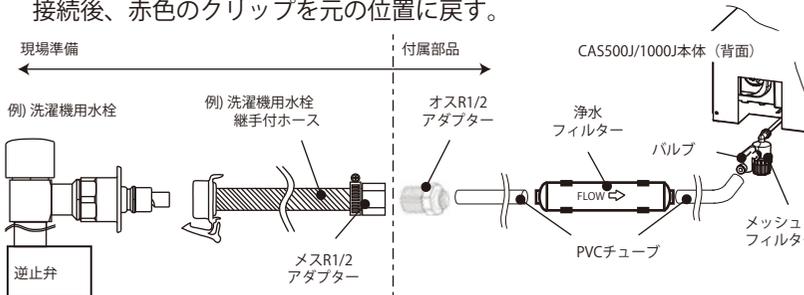
6 シールテープを巻いたアダプター(オスR1/2)を、現場準備のアダプター(メスR1/2)に取り付ける。

7 アダプターにPVCチューブ (6.35mm) を接続し、浄水フィルターを接続する。



- ⚠ PVCチューブをカットする際は、直角にチューブをカットしてください。
- ⚠ PVCチューブは接続部の奥まで確実に差し込んでください。

8 浄水用フィルターにPVCチューブ (6.35mm) を接続し、CAS500J本体後方下側のバルブの赤色のクリップを外し、同様にPVCチューブと接続する。接続後、赤色のクリップを元の位置に戻す。



⚠ 浄水フィルターは矢印の方向に取り付けてください。

9 洗濯機用水栓を開いてP15以降を参考に運転を開始してください。

- ⚠ 接続部から漏れがないかを確認してください。
- ⚠ 接続部から漏れが確認された場合、再度PVCチューブを奥まで差し込み、確実にPVCチューブが接続部の奥まで差し込まれているか確認してください。

図番名称	電気暖炉カセット CAS1000J	尺度	Free
	電気暖炉カセット CAS500J		
	ZG160005C	No.	4 / 6

輸入元：株式会社 バーグマン

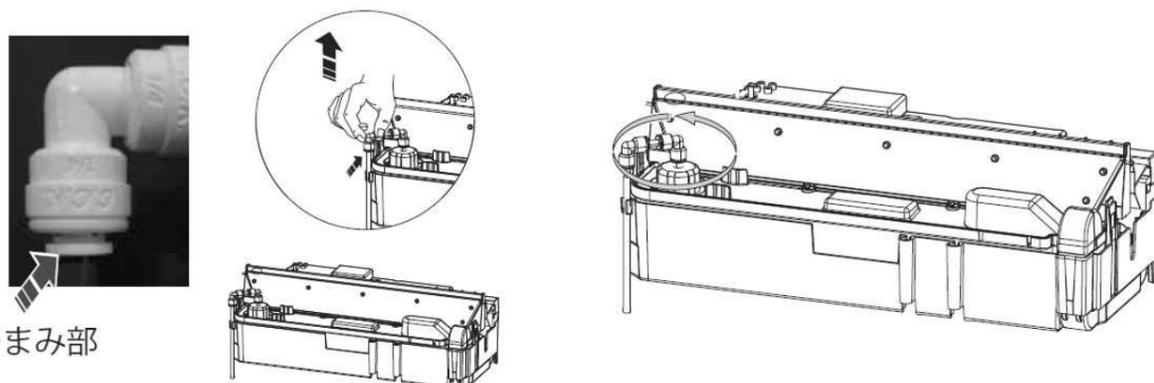
【給水接続：水タンク使用の場合】

水タンク使用の場合

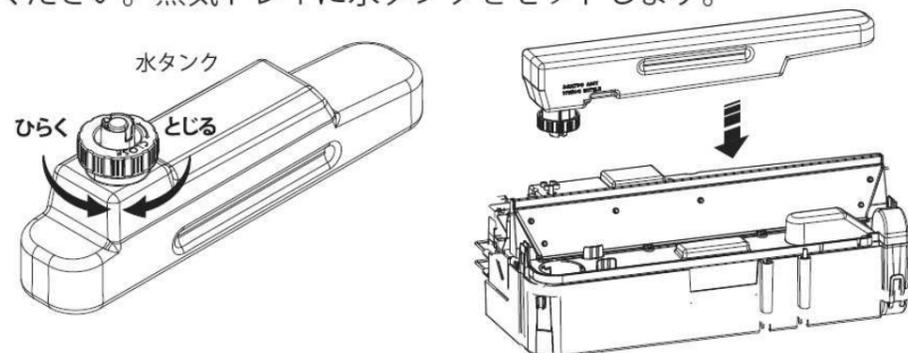
※設定される炎効果の高さにより異なりますが、満水で約8時間程度動作します。

- ⚠ 電源コードをコンセントから抜いた状態で作業ください。
- ⚠ 水を補充する場合は、水タンクに水を補充してから本体内部にセットしてください。蒸気トレイに直接水を補給しないでください。水位が高くなり過ぎ、炎効果が出にくくなる場合があります。
- ⚠ 本体内部に水をこぼさないようにご注意ください。
- ⚠ 不純物などが含まれていない水道水をご使用ください。

- ① 給水用キャップを外す。※①、②、③についてCAS1000Jの場合左右2台分の作業を行なってください。赤色のクリップを外し、樹脂クランプのつまみを押し込みながら、給水用チューブより引っ張って外す。



- ② 水タンク（1.2L）に水道水を入れ、CAS500J/1000J本体に設置してください。水タンクのキャップを開け、水を入れます。水の量が足りない場合は、炎効果が出ないため、満水まで水を入れ、キャップを締めてください。（キャップの締めすぎに注意してください。）  
キャップ部を下に向け、水タンクの外側についた水滴をふき取ってください。蒸気トレイに水タンクをセットします。



- ③ 蒸気トレイに一定の水(0.8L)が移動しますので、再度水タンクに水道水を入れてCAS500J/1000J本体に設置してください。

【お手入れに関して1/3】

お手入れのしかた

- ⚠ 必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行ってください。
- ❗ 2週間以上ご使用にならない場合は必ず内部の水を捨て、硬く絞った柔らかな布で蒸気発生器の上を拭いてください。カルキの付着により、蒸気発生器が動作しなくなるおそれがあります。

外装のお手入れ

- ・柔らかい布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。
- ・クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。

蒸気吹き出し口のお手入れ

- ・掃除機を使用して定期的に蒸気吹き出し口を掃除してください。（目安2週間ごと）

内部のお手入れ（次ページのイラストをご参照ください）

- ・2週間以上ご使用にならない場合は、内部に残っている水を全て廃棄してから、保管してください。
- ・2週間ごとに以下の部品を硬く絞った柔らかい布で使用して清掃してください。内部の残留水を廃棄する際、本体内部に水をこぼさないように注意してください。

① 水タンク及びキャップ

- ・水タンク本体は、きれいな水道水ですすいでください。汚れがある場合は薄めた中性洗剤などを入れ、キャップをしてよく振ってください。その後、洗剤が残らないようによくすすぎます。
- ・キャップは裏側のゴムのリング部などに異物が付着しないように、清掃してください。

② 蒸気トレイ・蒸気ノズル

- ・次ページの図を参考に取り外し、硬く絞った柔らかい布で清掃してください。

③ モーターエアフィルター

- ・次ページの図を参考にエアフィルターを取り外した後、水で洗ってください。よく乾いた布で水分を取り除き完全に乾かしてから取付けてください。この際、フィルターの向きに注意してください。

④ 蒸気発生器

- ・蒸気発生器の上面を硬く絞った柔らかい布で清掃してください。

メッシュフィルターの清掃

- ・自動給水にてご使用の際に、動作が停止して4回続けてLEDが点滅した場合、P23を参照頂き、内部のメッシュを水で洗ってください。

浄水フィルターの交換

- ・使用頻度により異なりますが、浄水フィルターは1~2年を目途に交換ください。浄水フィルターをお求めの際は、お買上の販売店または当社へご相談ください。

名称	電気暖炉セット500J CAS500J 電気暖炉セット1000J CAS1000J	尺度	FREE
図番	ZG160005C	No	5 / 6
輸入元：株式会社バーグマン			

## お手入れのしかた

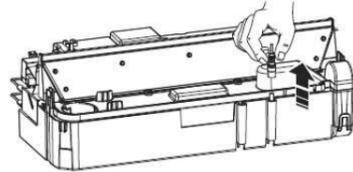
⚠ 自動給水の場合、内部を清掃する前は必ず本体背面のバルブを締めてください。

① P14の逆の順番で、薪セットを外して下さい。

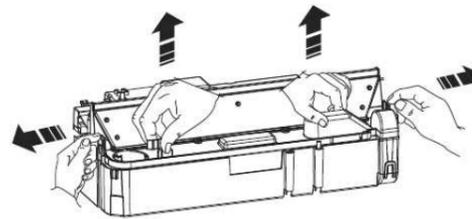
❗ 薪用のLED用配線を確実に抜き、薪セットを外してください。

② 蒸気ノズル・蒸気トレイ・蒸気発生器は以下の通り取り外してください。

蒸気発生器の配線を外す。

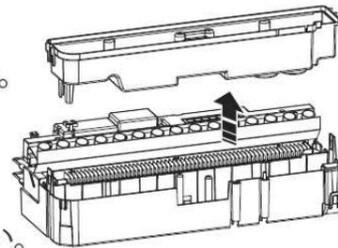


クランプ部を外に広げながら、蒸気ノズルを持ち上げる。



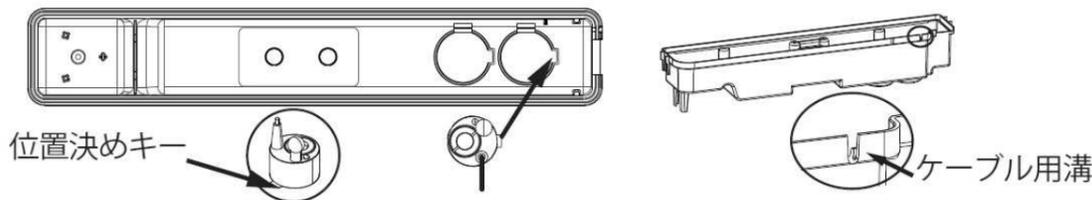
❗ 蒸気ノズルを持ち上げる際に、水滴が落ちることがあります。水平に持ち上げてください。

蒸気トレイはそのまま水平に持ち上げてください。



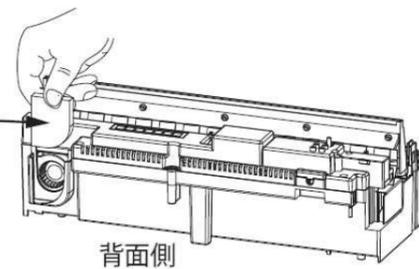
蒸気トレイより発生器を取り出してください。

❗ 清掃後、蒸気発生器は必ず位置決めキー所定の位置（右側）に収まるように設置し、蒸気発生器の配線は蒸気トレイのケーブル用溝を通してください。



フィルターを水洗いしてください。

エアフィルター  
※黒い面が外側です。



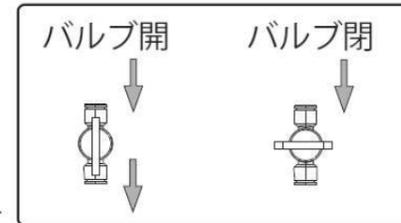
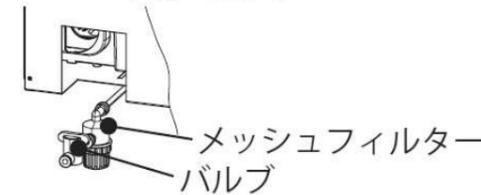
## お手入れのしかた

⚠ 必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行ってください。

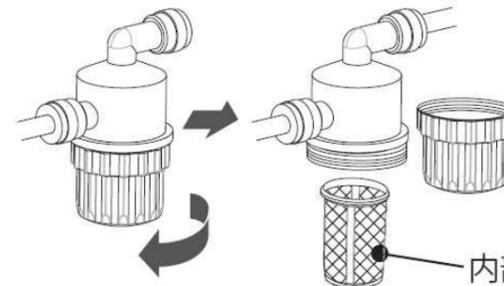
⚠ 必ずメッシュフィルター横のバルブを閉じてから清掃を行ってください。

① 電源プラグを抜き、バルブを閉じてください

CAS500J/1000J本体（背面）



② メッシュフィルター内部のメッシュを水洗いください。



❗ カバーを外す際に内部の残留水が溢れ出すことがあります。カバーを外す際はタオルで覆うなどしてください。  
❗ メッシュを水洗い後は確実にカバーを取付けてください。

③ カバーを取付け、バルブを開いてください。

❗ カバー取付け部からの漏れがないことを確認してください。

名称	電気暖炉セット500J CAS500J 電気暖炉セット1000J CAS1000J	尺度	FREE
図番	ZG160005C	No	6 / 6
輸入元：株式会社バーグマン			